学校番号	218

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『新詳地理探究』帝国書院						
副教材等	『標準高等地図』帝国書院						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理探究は、地名や用語をただ覚える教科ではありません。この授業では、「なぜ人はこの場所に住んできたのか」「自然や産業は、人々の暮らしをどう形づくってきたのか」といった、地図や資料を手がかりに考える問いを扱います。私たちは日常生活の中で、食べ物を買い、移動し、都市で暮らしていますが、その背景にある地理的条件について深く考える機会はあまり多くありません。地理探究の授業では、地図や統計資料を読み取り、「なぜそうなっているのか」を自分の言葉で説明する力を身につけていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地形、農林水産業、工業、人口・村落・都市などに関する地理的事象について、その基本的な特徴や用語を理解し、自然条件や社会条件との関係を説明することができる。また、地図、統計資料、図表、写真などの資料を読み取り、要点を押さえて理解・活用する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
地理的な課題に対して、地図や資料を手がかりにしながら、その要因や背景を多角的に検討することができる。異なる地域や事例を比較し、それぞれの特色や違いを踏まえて、自分なりの考察や判断を形成することができる。自分の考えを、根拠となる資料や具体例を示しながら、論理的に説明・表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
答えが一つに定まらない地理的な課題に対しても、粘り強く考え、自ら問いを立て続けようとする姿勢を身につける。他者の意見や異なる地域・立場を尊重し、対話や協働を通して自分の考えを深めようとする態度を養う。地理的な事象を、自分自身の生活や地域、現代社会や地球規模の課題と結びつけて考えようとする態度をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地形、農林水産業、工業、人口・村落・都市などに関する基本的な知識や用語を理解しているかを評価する。あわせて、自然条件や社会条件との関係について、その背景や特徴を正確に理解しているかを確認する。また、地図、統計資料、図表、写真などの資料を読み取り、必要な情報を把握・整理する技能が身についているかを評価する。知識を単なる暗記にとどめず、地理的事象の意味や相互の関係を理解しているかを重視する。	地理的な課題に対して、地図や資料を手がかりにしながら、その要因や背景を論理的に考察し、自分の考えを形成・表現しているかを評価する。異なる地域や事例を比較・検討し、それぞれの特色や違いを踏まえて自分なりの判断を行っているかを重視する。あわせて、根拠となる資料や具体例を示しながら、自分の考えを文章や発表で的確に表現できているかを確認する。結論の内容そのものではなく、考察の過程や論理の一貫性を評価の対象とする。	地理的な課題に関心をもち、主体的に問いを立てながら学習に取り組んでいるかを評価する。答えが一つに定まらない地域課題や地球規模の問題に対しても、自ら考え続けようとする姿勢が見られるかを重視する。また、他者の意見や異なる地域・立場を尊重し、対話や記述活動を通して自分の考えを深めようとしているか、地理的事象を自身の生活や地域、現代社会の課題と結びつけ考えようとしているか、日本の領域・領土への愛着心を育んでいるか評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地形・自然環境	1　世界の大地形はどのようにつくられたのか 2　プレートの動きは人間の生活に何をもたらすか 3　山地と平野は、土地利用にどう影響するか 4　河川のはたらきは、人間にとって利益か不利益か 5　海岸地形は産業や都市の立地をどう左右するか 6　日本の領域・領土の地形は、なぜ複雑なのか 7　自然災害はどこで起こりやすいのか 8　防災は地形を知ることでどこまで可能か	a 地形の成り立ちや特徴、自然環境と人間生活との関係を理解し、地形図や分布図などの資料を読み取ることができているか。 b 地形や自然条件が人間の活動や災害に与える影響について、資料をもとに理由や背景を考察し、根拠を示して説明しているか。 c 地形や自然環境への関心をもち、資料の読み取りや課題探究に主体的に取り組もうとしつつ、日本の領域・領土への愛着心を育んでいるか。	小テスト	レポート 課題 小テスト	提出物

	農林水産業	9 農業は自然条件でどこまで決まるのか 10 世界の農業地域はどのように分かれるか 11 なぜ稲作はアジアに集中しているのか 12 商品作物はどこで、なぜ栽培されるのか 13 日本の農業はどんな特徴をもつか 14 日本の食料はどこから供給されているのか 15 食料自給率は低いと問題なのか 16 森林は資源か、環境か 17 世界の漁業はどこで盛んなのか 18 日本の水産業はこれからも成り立つのか	**a** 農業・林業・水産業の形態や特徴、地域差について理解し、統計資料や分布図から生産の特徴を読み取ることができているか。 **b** 自然条件や社会条件との関係に着目し、農林水産業の立地や変化について多面的に考察し、自分の考えを表現しているか。 **c** 食料生産や資源利用の課題に関心をもち、持続可能性の視点から主体的に考えようとしているか。			
2	工業	19 工業はなぜ特定の地域に集中するのか 20 工業立地に必要な条件とは何か 21 世界の工業地域はどこに分布しているか 22 日本の工業地域はどのように形成されたか 23 なぜ日本の工業は臨海部に多いのか 24 工業のグローバル化は何を変えたのか 25 1つの製品はどこの国でつくられているのか 26 国際分業はどんなメリット・デメリットがあるか 27 工業は地域経済をどう支えてきたか 28 日本の工業は今後どう変わるべきか	**a** 工業の立地や産業構造の特徴、国内外の工業地域について理解し、地図や統計資料を適切に読み取ることができているか。 **b** 工業立地の要因や産業の変化を資料をもとに分析し、地域の特徴や課題について論理的に説明しているか。 **c** 身近な工業製品や地域産業に関心をもち、産業の変化や課題を主体的に探究しようとしているか。	小テスト	レポート 課題 小テスト	提出物

	人口・村落・都市	29 世界の人口はどこに集中しているか 30 人口はなぜ増え、なぜ減るのか 31 人口構造の違いは何を意味するか 32 人はなぜ移動するのか 33 村落はどのように形成されてきたか 34 村落はなぜ衰退しているのか 35 都市はなぜ発達したのか 36 大都市はどんな問題を抱えているか 37 東京一極集中はなぜ進むのか 38 持続可能な都市とはどんな都市か	**a** 人口構成や人口移動、村落・都市の形態や機能について理解し、人口ピラミッドや分布図を読み取ることができているか。 **b** 人口変化や都市問題の要因を多角的に考察し、地域差や課題について根拠を示して説明しているか。 **c** 人口問題や都市・地域の課題に関心をもち、自分の生活や社会と結びつけて考えようとしているか。			
3	地誌と世界遺産	39 世界遺産は世界のどこに分布しているか 40 自然条件が決定的な世界遺産とは何か 41 農業・生業と結びついた世界遺産 42 工業・交易と結びついた世界遺産 43 都市の発展と世界遺産 44 観光は世界遺産を守っているのか 45 世界遺産は「誰のため」にあるのか	**a** 地域の自然・産業・文化の特徴や世界遺産の価値について理解し、地図や資料から地域の特色を把握できているか。 **b** 複数の要素を関連づけて地域の特徴や世界遺産の意義を考察し、自分の考えを分かりやすく表現しているか。 **c** 地域や文化の多様性に関心をもち、世界遺産を通して地域理解を深めようと主体的に学習しているか。	小テスト	レポート 課題 小テスト	提出物

表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度